

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Lコート 第2試合 県立本庄高等学校

チームA 京都精華女子 京都	59	16 - 21 18 - 18 20 - 21 5 - 30	90	チームB 県立宇都宮中央女子 栃木
-----------------------------	-----------	---	-----------	--------------------------------

京都精華女子

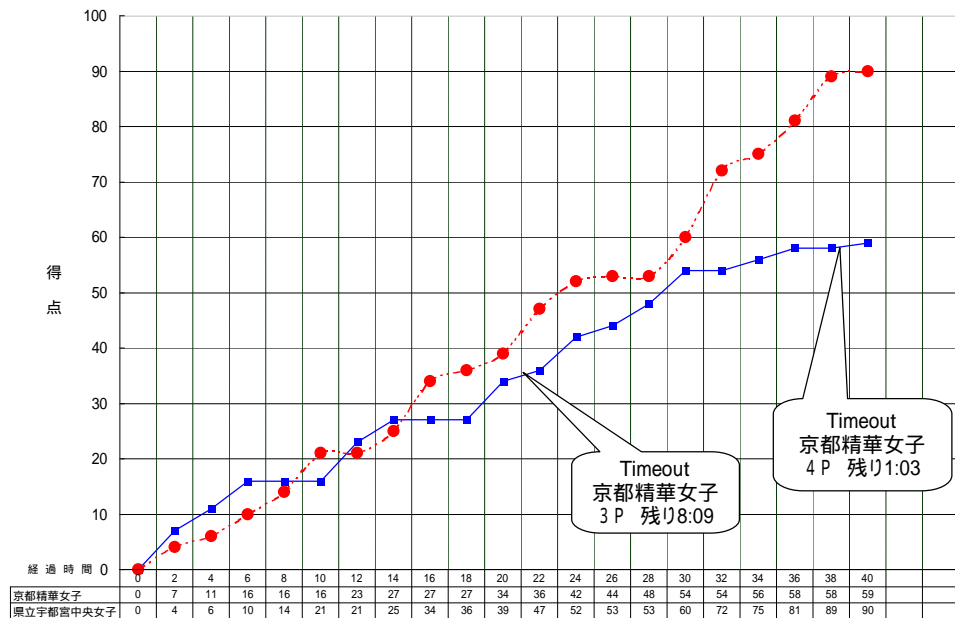
番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	中川 彩	X	7	0	7	3	7	1	2	3	2	4	8	1	3	1	37
5	町田 知優	X	10	0	0	5	7	0	0	4	9	5	2	0	0	1	35
6	高瀬 明菜		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
7	丁ヶ阪 奈月		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
8	武田 舞	/	3	1	3	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	10
9	宅間 由佳	X	4	0	0	2	3	0	0	3	0	4	3	2	1	1	24
10	今後 なつき		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	八木 希沙	X	18	2	11	4	12	4	4	3	1	3	2	2	2	1	37
12	町田 瀬名	X	10	0	2	4	12	2	2	4	0	3	8	7	5	1	34
13	山口 梨花子	/	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	3
14	中川 優	/	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
15	赤松 千紘	/	7	0	0	3	6	1	2	2	3	1	0	2	0	1	18
コーチ	山本 綱義									0	3	3					
出場: ×は先発、/は出場			59	3	25	21	50	8	10	20	19	24	26	15	11	6	200
			確率	12.0%		42.0%		80.0%			計	43					

県立宇都宮中央女子

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	山 理 菜	X	12	2	3	3	3	0	2	1	0	5	10	4	9	0	39
5	山田 早希子	X	39	0	0	15	25	9	12	3	3	7	6	2	1	2	39
6	石川 あゆみ	X	8	0	0	3	4	2	2	2	4	3	2	3	1	1	21
7	野方 万葉	X	8	2	8	1	8	0	0	1	4	4	5	2	3	0	39
8	早水 まい	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9	大久保 藍	/	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
10	大坪 千津	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
11	左奈田 みづき	X	7	1	7	2	4	0	2	5	0	5	1	8	4	0	32
12	角田 麻奈美	/	2	0	1	0	1	2	2	1	0	0	1	0	1	0	6
13	佐々木 恵	/	11	0	0	5	9	1	1	0	4	3	2	2	3	1	18
14	吉田 陽花里	/	3	0	0	0	0	3	4	0	0	0	1	0	0	0	2
15	高橋 茜	/	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
コーチ	香山 孝之									0	4	4					
出場: ×は先発、/は出場			90	5	19	29	54	17	27	14	19	31	29	22	22	4	200
			確率	26.3%		53.7%		63.0%			計	50					

2分毎による得点の推移

—●— 京都精華女子
-●- 県立宇都宮中央女子



戦評

機動力が持ち味で近畿大会で3位となり、41年ぶりに京都を制した京都精華女子と、粘り強い守りと速攻を武器に6年連続の出場となった宇都宮中央との対戦となった。第1Pはお互いオールコートでプレッシャーをかけるディフェンスで似たような展開。中盤からは宇都宮中央は、#5山田、#6石川のゴール下を中心に攻め、京都精華女子は速い攻撃から#4中川、#11八木の外からのシュートで攻める。残り1分に#7野方の3Pで21-16で宇都宮中央のリード。第2Pは序盤、京都精華女子の#5町田知、#12町田瀬のシュートで一気に逆転。宇都宮中央も#7野方のシュートなどで追いつき、その後は両チームともミスが多くなかなか得点できぬまま39-34の5点差で宇都宮中央のリードで終了。第3P開始早々、宇都宮中央がオールコートで仕掛け突き放す。京都精華女子はたまたらずにTO。その後、粘り強いディフェンスで残り1分に1点差まで詰め寄るも、結局60-54で宇都宮中央がリード。第4Pは開始早々から宇都宮中央のオールコートディフェンスで次々とボールを奪い、一気に20点差まで差を広げた。その後も宇都宮中央は着実に得点を重ね、90-59で勝利した。京都精華は最後まで自分たちのバスケットができなかったのが残念である。

主審	丸山淳	副審	加藤始	戦評	森保剛志 (埼玉県高体連)
----	-----	----	-----	----	---------------

3P: スリーポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、OF: オフェンス、DF: ディフェンス、TO: ターンオーバー、ST: スティール、AS: アシスト、BS: ブロックショット